



園をつくり、それによる観光文化事業を考えている。その教訓を学び、日本でも宍道湖の淡水化阻止によって、周辺の景観を保全しながら新しい開発が計画され始めた。今年、国連環境委員会は、東京宣言を出し、持続する開発、という方法を出した。まさにこれからの開発は、環境保全か開発かという二者択一でなく、環境保全こそが地域の発展であり、環境保全の枠の中で持続する開発が求められている。過疎地域においては、大都市とジョイントする企画が重要であり、住民が主体的になって、持続する開発を計画する必要がある。」と述べた。

7つの分科会の報告を聞いていて感じたことは、それぞれの分科会が相互に関連していることが参加者に十分に意識され熱心に聞かれていることだった。この集会は、長野県自然保護連盟と、ブナと原生林現代文明を考える全国集会実行委員会の主催で、長野県内からの398名を含めて、585名の参加があった。長野県自然保護連盟は、学者、県山岳協会、県勤労者山岳連盟、県高教組などの人々で構成され、実行委員会には、それに地学団体研究会、科学者会議長野支部、県教組、自由法曹団長野支部などに属する多くの人で構成され、二日間の集会中に6回も速報を出すなど、その力量はたいしたものだった。集会が大人数だったため密な交流はできなかったが、今後の方向がかなりはっきりしてくるなどとても有意義な集会だった

(さとうたかはる 新潟大学工学部)

表1、集会の目的

- 1、ブナや原生林を巡る現状と問題点を総合的、全国的に明らかにする。
- 2、70年代以降の日本の自然保護運動の到達点、その成果や問題点、今後の進むべき道を展望する。
- 3、地球規模の自然破壊を食い止め、21世紀に送る新しい文明の道を探る。

表2、全体集会で報告された現地報告

- |                          |                          |       |
|--------------------------|--------------------------|-------|
| 1、大雪から知床までの課題と教訓         | 北海道自然保護協会理事              | 寺島 一男 |
| 2、白神山地のブナ原生林を守る運動        | 秋田 白神山地のブナ原生林を守る会理事長     | 鎌田 孝一 |
| 3、葛根田のブナ林を守る運動について       | 岩手 八幡平の葛根田のブナ原生林を守る会事務局長 | 白藤 力  |
| 4、ブナ林の保護を考える 鍋倉山         | 長野 信州大学志賀自然教室            | 渡辺 隆一 |
| 5、圏央道-高尾からの訴え            | 東京 高尾山自然保護実行委員会代表        | 西山 寛  |
| 6、逗子の緑を子供達に              | 神奈川 逗子市 自然と子供を守る会        | 大久保楽栄 |
| 7、比良の自然林を守る運動            | 滋賀 比良の自然を守る連絡会議代表        | 寺川 庄蔵 |
| 8、日本の屋根・信州に押し寄せるリゾート開発の波 | 長野 長野県高教組教文会議・辰野高校教諭     | 山口 通之 |
| 9、森林の明日を考える-自然保護と自然享有権   | 日本弁護士連合会(大阪)             | 大西 裕子 |

表3、分科会で報告された現地報告

1、自然保護と自然享有権		
1、市民的協力が実を結んだ天神崎保全運動	和歌山 (財) 天神崎の自然を大切にする会 理事	笠岡 英次
2、ブナと原生林		
2、ブナ伐採中止を求める訴訟	山形 山形県内水面水産養殖業	佐藤 裕一
3、ブナ乱伐と行政、ブナ保護運動	宮城 船形連峯の自然を守る会	庄司 幸助
3、森林行政と自治体		
4、妙高地蔵山周辺	新潟 上信越の自然を守る会 代表	竹内 彦司
5、剣山山系の自然を守る運動	徳島県勤労者山岳連盟	杜 和彦
6、ブナの森を守る村の行政 (文書報告)	長野 鬼無里村役場	樋口 金元
4、子どもと自然		
7、子どもと自然	愛知 愛知県勤労者山岳連盟理事長	洞井 孝雄
8、山小屋へくる子どもたち	京都 わさ谷小屋主人	ふじわらとみぞう
9、ブナ植えよう運動の経過	長野 戸隠を知る会代表	水上 憲宗
5、熱帯林と砂漠		
10、人々の生活を支える緑・熱帯林	東京 アジアの熱帯林を考える会	馬橋 憲男
6、自然開発		
11、富山県におけるリゾート開発をめぐる	富山 立山連峰の自然を守る会 事務局員	増田 準三
12、八千穂村開発と住民運動	長野 明日の八千穂村を考える会	小椋 茂
7、自然保護運動		
13、氷ノ山のブナ林を守って16年	兵庫 氷ノ山の自然を守る会事務局長	清郷 雅秋
14、都市「大阪」に於ける「みどり」の保全	大阪 (社) 大阪自然環境保全協会副会長	木下 陸男
15、労山における自然保護運動のあゆみと展望	東京 日本勤労者山岳連盟副理事長	鈴木 貫太